

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)平塚市宮の前計画	階数	地上11F
建設地	平塚市宮の前 9-12ほか	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	147 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年8月 予定	評価の実施日	2016年2月10日
敷地面積	716 m <sup>2</sup>	作成者	グラビス設計
建築面積	363 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月10日
延床面積	3,305 m <sup>2</sup>	確認者	グラビス設計

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p>	<p>30%:☆☆☆☆☆ 60%:☆☆☆☆ 80%:☆☆☆☆ 100%:☆☆ 100%超:☆</p> <p>標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 76% ③上記+②以外の 76% ④上記+ 76%</p> <p>(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質 Qのスコア = 3.0**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>Q1のスコア = 3.2</p>	<p>Q2のスコア = 3.2</p>	<p>Q3のスコア = 2.7</p>

**LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>LR1のスコア = 2.8</p>	<p>LR2のスコア = 2.9</p>	<p>LR3のスコア = 3.3</p>

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
周辺の住環境に配慮しながら、環境負荷の軽減に努める	0
<b>Q1 室内環境</b> 防音性能を高め、室内の防音化に努める	<b>Q2 サービス性能</b> バリアフリーに配慮し、建物の使いやすさを高める
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 敷地内に極力空地を確保し、共用部分にゆとりを持たせる	
<b>LR1 エネルギー</b> 住戸内の断熱性能を高め、建物の省エネルギー化を図る	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 解体時のリサイクルに配慮し、躯体と仕上材が容易に分別可能な納まりとした。
	<b>LR3 敷地外環境</b> 外部照明の増設に努め、防犯活動に協力する。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される